

2026年度三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

提出日: 年 月 日

計画タイトル※申請書と同じタイトルを記載すること

学生情報

氏名	
学籍番号	
所属学部	
学年(出発時)	

渡航先情報

渡航先	
渡航先滞在期間	〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 〇〇年〇〇月〇〇日
滞在日数	
訪問先機関等	
訪問先機関での身分	

渡航概要と内容

以下の4点が明確に分かるように、具体的に記載してください。

活動内容: 現地で実施した学修・調査・実習・交流など
方法: 授業参加／インタビュー／施設見学／共同研究の補助など
関わった相手(個人名は不可): 大学の●●研究室、●●部署のスタッフ、●●分野の学生など
成果物(あれば): 記録したデータ、作成した資料、参加したイベントなど

※ 個人名や詳細な個人情報は記載しないでください。団体名・部署名・役職名は正確に記載してください。

渡航により達成できたこと

事前に申請書で記載した以下の点と照らし合わせて、得られた成果を具体的に記載してください。

現地で明らかにしたかった「問い」や「課題」にどう向き合えたか
持ち帰った「データ・記録・知見」
計画との差分(想定外の発見・変更点など)

※ 公開されるため、第三者が読んで分かる事実ベースの記述を中心にしてください。

渡航を通じて感じたこと・学んだこと

今回の経験で得た気づき・学びを記載してください。以下のような観点を参考にしてください。

文化・価値観の違いから得た気づき
 問題に直面した際の対処や工夫
 自分の行動・考え方に生じた変化

今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

今回の経験を踏まえ、次の点について具体的に記述してください。

学修の深化: 今後取り組む授業・研究テーマとの関連
 キャリア形成: 今回得た視点やスキルが将来にどう結びつくか
 行動計画: 今後 3～12 ヶ月以内で実際に行う予定のアクション

この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

あなた自身の経験に基づき、これから海外で学びに挑戦する後輩が、現地での学びを深めるために役立つアドバイスを記入してください。

(例)

- ・現地で特に役に立った工夫や準備(例:情報の集め方、持って行けばよかった物、心構えなど)
- ・学びを深めるコツ(例:現地の人との関わり方、質問の仕方、活動の記録方法など)
- ・“挑戦してよかった”と思えた理由

計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

渡航費(往復)	
海外旅行保険	
学費(教科書代や大学等プログラム授業料等)	
宿泊費	
光熱費	
食費	
その他	
合計	0円

報告書記入日

〇〇年〇〇月〇〇日